香川県の地震

令和７年（２０２５年）７月

香川県の地震活動
震央分布図、断面図 ・・・ 1
地震概況 ・・・ 1

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果
（令和７年（2025年）８月７日） ・・・ 2

地震一口メモ
７月30日08時24分（日本時間）の
カムチャツカ半島東方沖の地震について ・・・ 3

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

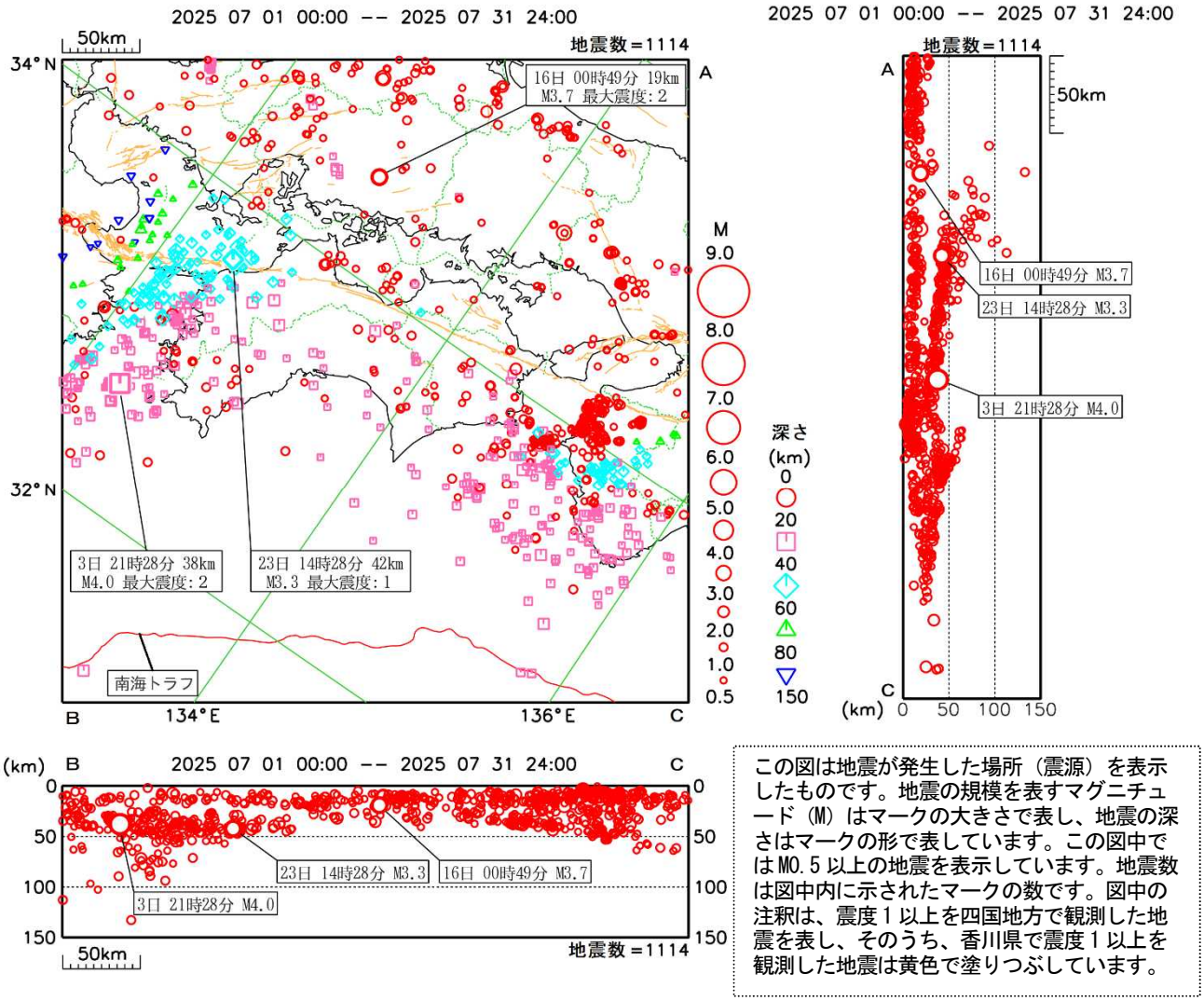
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高 松 地 方 気 象 台

【香川県の地震活動】

2025 年７月

◎震央分布図、断面図



この図は地震が発生した場所（震源）を表示したものです。地震の規模を表すマグニチュード（M）はマークの大きさで表し、地震の深さはマークの形で表しています。この図中ではM0.5以上の地震を表示しています。地震数は図中内に示されたマークの数です。図中の注釈は、震度１以上を四国地方で観測した地震を表し、そのうち、香川県で震度１以上を観測した地震は黄色で塗りつぶしています。

〔左上：震央分布図、右上：A-C を投影面とした断面図、左下：B-C を投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度１以上を観測した地震は、ありませんでした（前月は１回）。

四国で震度１以上を観測した地震は、次の４回でした。

３日 21 時 28 分 日向灘の地震（深さ 38km、M4.0）により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市、大分県佐伯市で震度２を観測したほか、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県で震度１を観測しました。

16 日 00 時 49 分 広島県南東部の地震（深さ 19km、M3.7）により、愛媛県今治市・上島町で震度１を観測しました。この地震では、広島県安芸高田市・北広島町・世羅町・東広島市で震度２を観測したほか、島根県、広島県で震度１を観測しました。

18 日 18 時 58 分 大分県南部の地震（深さ 100km、M3.7：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度１を観測しました。この地震では、大分県臼杵市で震度２を観測したほか、大分県、宮崎県、熊本県、福岡県で震度１を観測しました。

23 日 14 時 28 分 伊予灘の地震（深さ 42km、M3.3）により、愛媛県西条市・松山市・伊予市・久万高原町・八幡浜市・大洲市・内子町、広島県呉市で震度１を観測しました。

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

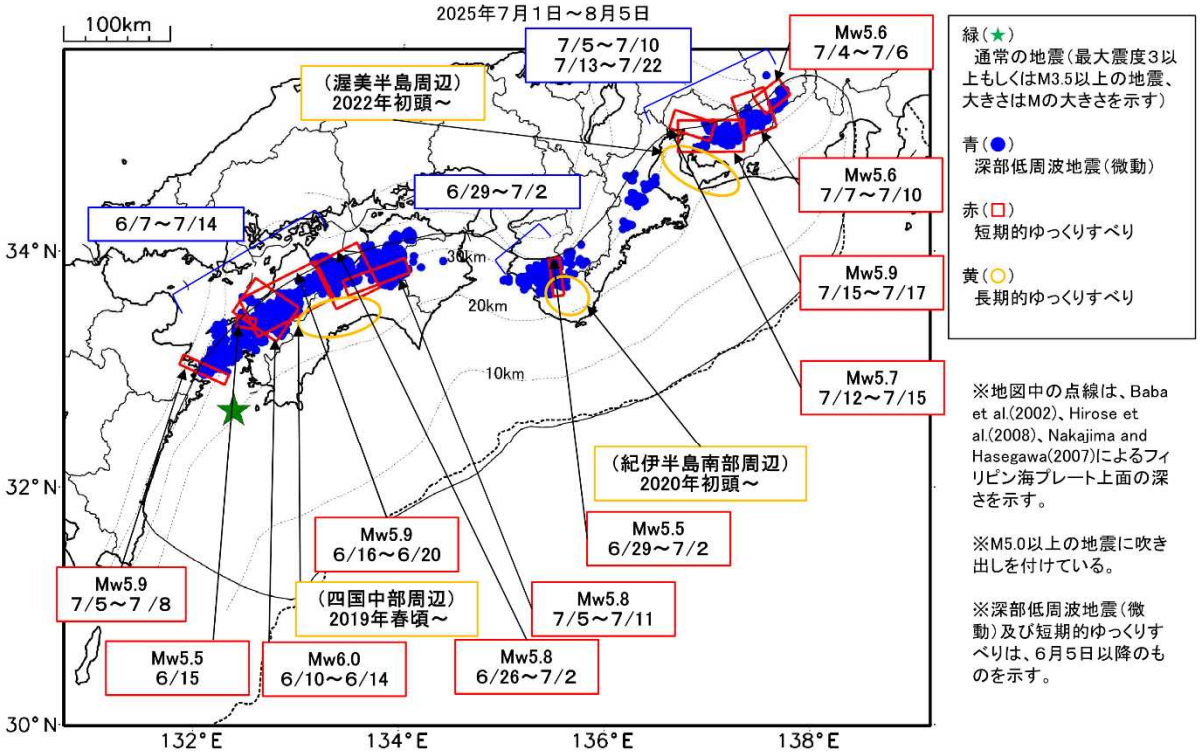
令和７年(2025 年) ８月７日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果（概要）】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時（注）と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（Ｍ８からＭ９クラス）は、「平常時」においても今後 30 年以内に発生する確率が 80%程度であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約 80 年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震（最大震度３以上もしくはM3.5以上）・・・・・・・・・気象庁の解析結果による。
深部低周波地震（微動）・・・・・・・・・（震源データ）気象庁の解析結果による。　（活動期間）気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり・・・・・・・・・・・【東海】気象庁の解析結果を示す。【紀伊半島西部、四国西部から四国東部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり・・・・・・・・・・・国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震（青●）、短期的ゆっくりすべり（赤□）、長期的ゆっくりすべり（黄○）について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について －最近の南海トラフ周辺の地殻活動－

https://www.jma.go.jp/jma/press/2508/07a/nt20250807.html

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ（ＵＲＬ）をご参照ください。

ホーム＞防災情報＞南海トラフ地震関連情報

https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/

【地震一口メモ】

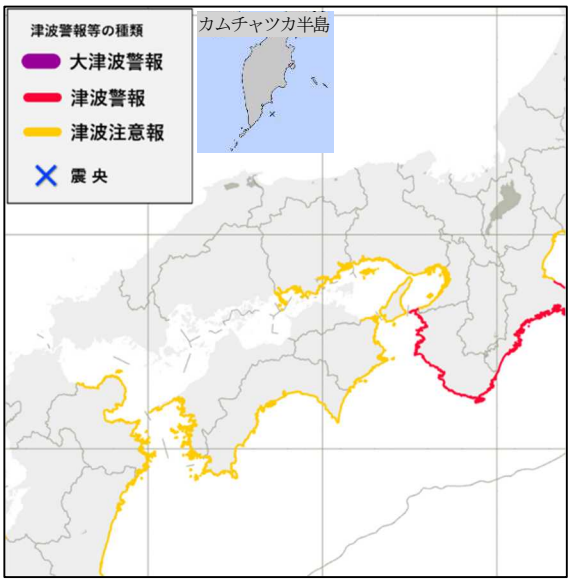
７月 30 日 08 時 24 分（日本時間）のカムチャツカ半島東方沖の地震について

７月 30 日 08 時 24 分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖で Mw8.8 の地震（Mw は気象庁による）が発生しました。この地震により、四国地方には、30 日 09 時 40 分に徳島県、愛媛県宇和海沿岸、高知県に津波注意報、香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸に津波予報（若干の海面変動）を発表しました（上記の津波注意報は 31 日 10 時 45 分に解除されています）。

津波注意報が発表された場合、海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れ、津波注意報が解除されるまでは、海岸や海に近い河口に近づかないでください。

今回、四国地方には発表されませんでしたが、大津波警報、津波警報が発表された場合は、沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

また、マグニチュードの大きい地震では１日以上津波が継続します。今回の地震でも、四国地方では１日以上、津波を観測しました。



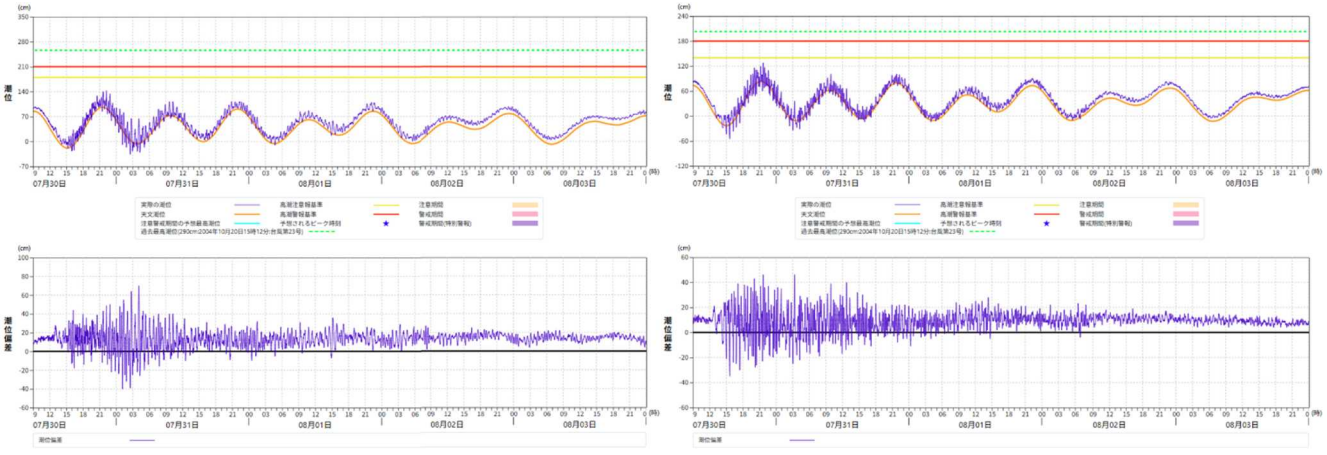
津波警報・津波注意報の発表状況
（30 日 09 時 40 分発表）

四国地方の津波観測値（速報値）

津波予報区	津波観測点名称	第一波			最大波			
		時　刻			時　刻			高さ
		日	時	分	日	時	分	m
徳島県	小松島	30	13	03	31	01	31	0.2
徳島県	徳島由岐	30	12	30	31	03	21	0.4
愛媛県宇和海沿岸	宇和島	30	13	31	30	19	32	0.1
高知県	室戸市室戸岬	30	12	25	30	22	51	0.5
高知県	高知	30	12	49	30	19	02	0.2
高知県	土佐清水	30	12	45	31	04	07	0.6
高知県	国）中土佐町久礼港	30	12	53	30	17	35	0.4

※これらの読み取り値は、今後の精査により変更することがある。
　国）は国土地理院、記載ないものは気象庁の津波観測点を示す。

四国の津波観測点（左：土佐清水、右：徳島由岐）の潮位観測状況（７月 30 日 09 時～８月３日 24 時）



土佐清水　　徳島由岐